


主の年 2018年

明けましておめでとうございます。この年も皆様に神様の豊かな祝福をお祈りいたします。

集会のご案内

主日礼拝	日曜日 午前10:30~11:45	教会はどなたでもおいでになれます。
子どもチャペル	日曜日 午後1:00~2:00 ※幼児から中高生対象	
ゴスペル教室	月一回原則月曜日 午後7:00~9:00 ※見学もできます。詳細はお問合せください。	
オカリナ教室	月一回原則第一木曜日 午後6:00~8:00	



神にあって生きる

現在、教会に来られている方たちにも、神様との出会いがありました。第6回目は、昨年11月に洗礼を受けたばかりのREさんにその経緯を語っていただきます。

私が初めて宝塚栄光教会を訪れたのは2003年9月頃、こちらの教会で結婚式を挙げさせて頂くことになりました。

結婚式の前にセミナーを受け、結婚のことや神様のこと、聖書についてお話を聞いて、無事結婚式をあげることができましたが、その時はあまり神様のことについてわかることができませんでした。

長男を出産して、久しぶりに教会に行くと、岩間先生のお話の中で「すべて疲れた人、重荷を負っている人は私のところに来なさい。わたしがあなたがたを休ませてあげます」という御言葉を聞いていて、なぜか涙が出てしまい、自分でもどうしてだろうと不思議に思いました。

その後体調を崩して、なかなか教会に行くことができませんでしたが、昨年末からようやく子ども2人を連れて教会に行くことができるようになりました。礼拝や子ども

チャペルでお話を聞くと癒され、神様のことについてもっと深く知りたいと思うようになり、そして、神様を信じていこうと思うようになりました。

先生との学びの中で、自分が罪深い者であることがわかり、罪を悔い改め、イエス様の十字架を信じれば、どんな罪も赦されることを知りました。そして、先生に導かれて、これまでの罪を神様の前に悔い改め、私の罪のためにイエス様が十字架にかかってくださり、尊い血を流して下さったのだと信じ、罪から救われることができました。

これからは神様を信じて、歩んでいこうと思います。そして、子ども2人が、神様を信じて救われてほしいと願います。



Gloryカレンダー販売中!

Gloryのエッセーと写真とともに、神様に祝福された素敵な一年を送りませんか。

順次お届けできます。0797-73-6076までご連絡いただければ郵送することもできます。

一部1,000円



「ケアプラン オリーブの実」 ☎:0797-73-6055
「デイサービス オリーブの実」 ☎:0797-73-6077

お気軽にお問い合わせ、ご相談ください。

<http://hp.kaipoke.biz/gev/>
教会ホームページのバナーからもアクセスできます。

宝塚栄光教会

牧師：岩間 洋

〒665-0021 宝塚市中州1-15-9 TEL:0797-73-6076

E-mail: info@takara-eikou.com http://www.takara-eikou.com

希望のダイヤル

毎週更新、24時間つながります。

0797-77-3746

ポッドキャスト

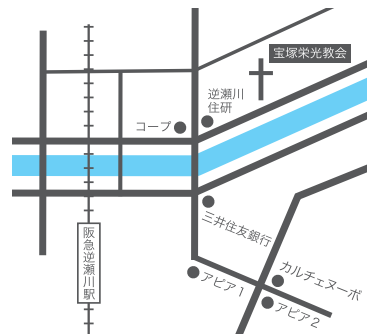
でも配信!

ホームページから利用できます。

礼拝 毎週日曜日

10:30~11:40

わたしたちは統一教会、ものみの塔(エホバの証人)、モルモン教ではなく、正統的なプロテスタントのキリスト教会です。お困りの方はご相談ください。



いつも主への賛美が

新しい年が明けました。去年は大きな災害があったり、重大事故が起こったりして、深い悲しみを味わった人が多くおられました。今年は喜びにあふれた年にしたいですね。

聖書には、古代イスラエルを統一した王ダビデの歌った詩がたくさん納められていますが、その中にこういう詩があります。「私はあらゆる時に主をほめたたえる。私の口には、いつも、主への賛美がある。」(詩篇34篇1節)

これは、ダビデが先代の王に命を狙われ、逃亡生活を強いられている時に歌ったものです。状況は非常に厳しく、歌など歌っている場合ではない中で、彼は、そのように歌いました。

彼が歌ったのは賛美でした。賛美とは、神様をほめたたえる歌です。楽しい時や調子がいい時は、自然に賛美を口ずさむこともあります。けれども、彼は、「あらゆる時に」「いつも」賛美を神様にささげると言うのです。なぜそんなことができたのでしょうか。

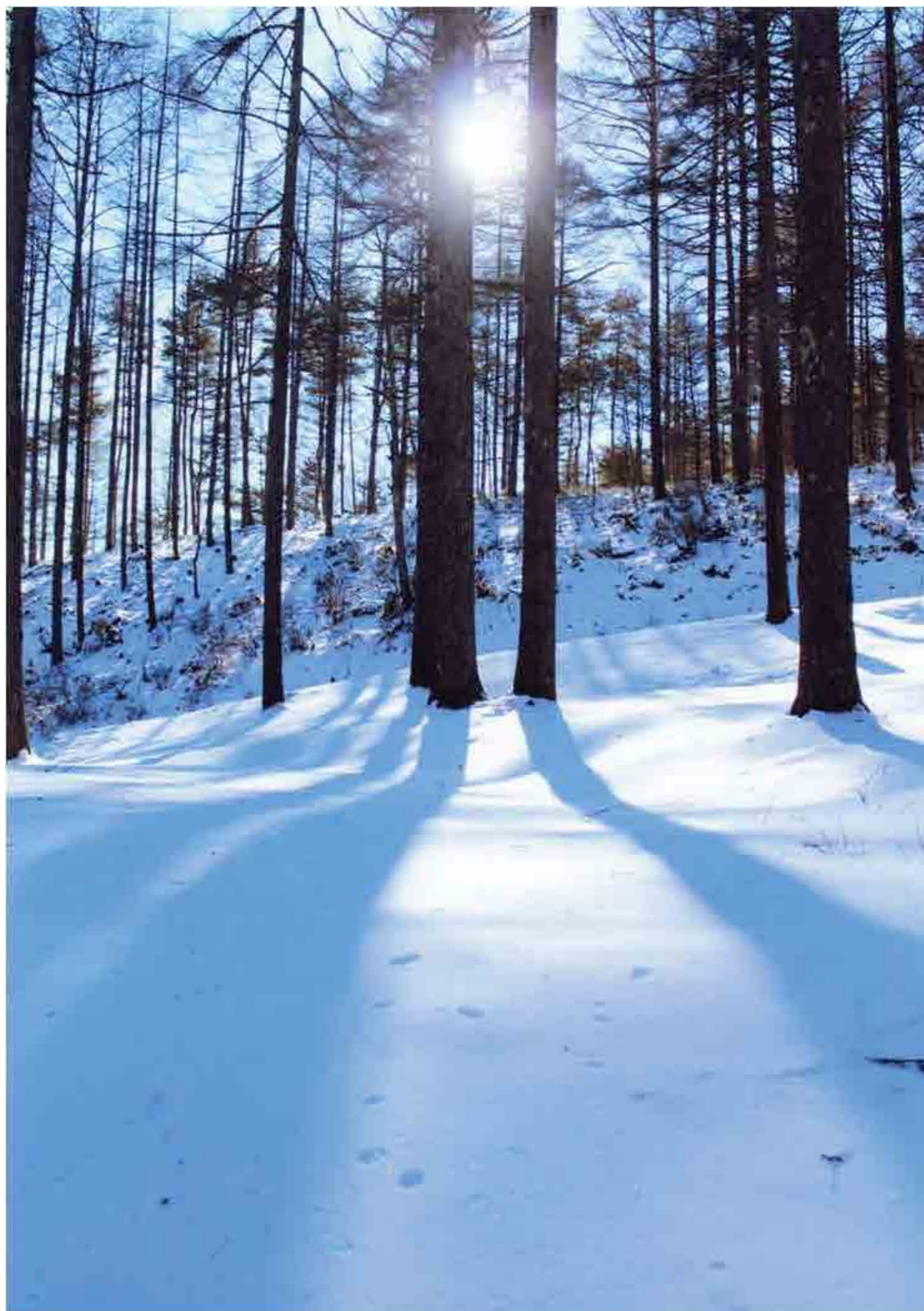
それは、彼が神様の真実を知っていたか

らです。状況や境遇がどうであれ、神様はいつも私たちを愛し、真実に導いてくださることを知っていましたから、彼は、どんな時でも神様をほめたたえることができたのです。

神様の愛と真実は、いつも私たちに向けられています。神様は、そのひとり子キリストを十字架におつけになるほど、私たちを愛してくださいました。キリストの十字架を信じるなら、私たちは罪から解放され、魂の救いをいただくことができます。

この救いをいただいて、愛と真実に富む神様に信頼していくなら、私たちもダビデと同じように、賛美のこころを与えていただいて、「あらゆる時に」「いつも」賛美を神様にささげる者になります。そして、困難や試練がやってきても、落ち込んだりしないで、明るい気持ちで進んでいくことができます。

この年、あなたも、周囲の状況や目の前に起こってくる事に左右されずに、絶えず主に賛美をささげる歩みをされませんか。イエス様の十字架を信じてください。あなたの人生は変わります。



「始まりの日々」

一年が明けていく
美しい年の始まりだ

空は澄み渡り 明るい日射しだ
時折 森の梢に 風が吹きぬける
森閑とした空気の中に 立つ

いったい どんな一年になるだろうか
どんな事が 待っているのか
穏やかな日が続くとは 限らない

大雨や大嵐の日も あるに違いない
厳しい困難の日が あるだろう

どんな一年であろうと
この一年の間 私をおおい包み込み
外は どれほど大変であっても
内は 安らぎを与えられて
平安を保った日々を 過ごすことができる

大きな御手の中に 生かされる
静かな 命の日々であることを 祈りながら

神はわれらの避け所 また力である 悩める時の いと近き助けである
このゆえに たとい地は変り 山は海の真中に移るとも われらは恐れない
たといその水は鳴りとどろき あわだつとも
そのさわぎによって 山は震え動くとも われらは恐れない

詩篇46篇(聖書)